

# 福寿園だより

Vol. 68  
平成29年1月10日発行

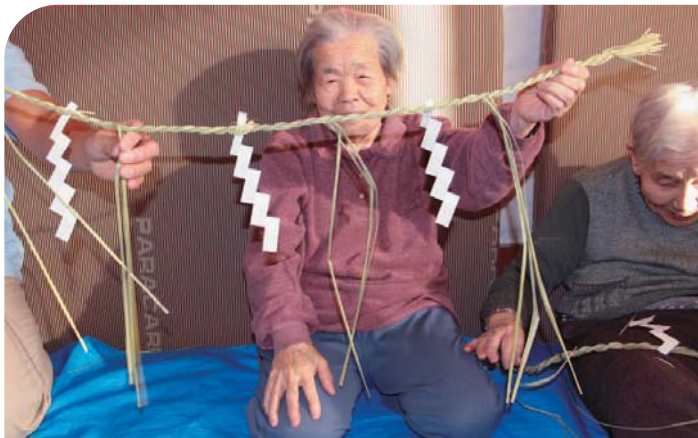


- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名  
(うちショートステイ20名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名  
(うち認知症12名)
- ◆福寿園ヘルパーステーション
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集  
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70  
TEL (0244)25-2811  
FAX (0244)25-2812  
URL <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>  
MAIL [fukujuen@chive.ocn.ne.jp](mailto:fukujuen@chive.ocn.ne.jp)



## め縄づくり

### 年頭のご挨拶

福寿園・さくら荘施設長

大内 敏文

皆様には、おだやかで希望に満ちた新春をお迎えのことと存じます。

昨年は、7月12日に小高区含む原発から20キロ圏内の避難区域が解除され、震災・原発事故から6年、一步一步前に進んでいると感じております。

本年、特に期待されることとして、小高工業、小高商業高校が統合され、小高産業技術高等学校が開校されること、が挙げられると思います。また、すべての不安が払拭されませんが、小・中学校の開校も将来を見据えた小高再興の一步のように思われ、小高の町に活気あふれる若者と子供たちの声が響くことに大きな期待を持っております。

当法人におきましては、震災後、石神地区に新たな施設を開設し、鹿島区の長年の要望であったショートステイを含めた40床を増床、南相馬市の福祉・介護の拠点づくりに挑んでまいりました。

しかし、当法人の最大の課題は、小高区の特養梅の香、グループホーム小高の再開が出来ていないこととあります。4月には、高校、専門学校の新卒者5人の採用が内定しています。今後も小高再開のための人材を確保し、一日も早い梅の香、グループホームの再開を最大の目標として取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# ハッピーデー

(福寿園デイサービス)

## 秋の行事

10月、恒例となった「秋の大運動会」。ラジオ体操で身体をほぐしてから、職員の紅白応援団長による応援合戦からスタート。運動会の名物競技とも言える玉入れ、足を使ったお

手玉飛ばし競争、最後はチーム対抗の大玉リレーを行いました。職員による仮装競争も設け、大きな笑い声が上がりました。



11月は「ドライブ紅葉」と題し、外出行事を開催。東ヶ丘公園を散策し、南相馬博物館を見学しました。週間行事で、最後の日だけ雨天で中止となってしまいましたが、天候に恵まれ、楽しい時間を過ごすことができました。

前年引き続きヒロ福田様がボランティアとしてお越しになり、音楽・マジック・切り紙を披露してくださいました。お話をしながら器用に紙を動かして、アツという間に可愛いキャラクターの完成。次は何が出来上がるのかな？ヒロさんの指先を見つめるご利用者の目がひと際輝いた一時でした。



## 内部研修

内部研修は、日々の業務や各自の日常生活に必要な知識を学ぶ良い機会となっています。

9月下旬にAEDの使用と成人に対する心肺蘇生法の復習・再確認の為、「入門救命講習」を、10月12日には、過去に普通(Ⅰ)救命講習を受講した事のない職員と受講した事はあっても再度受講を希望する職員を対象に、南相馬消防署庁舎にて「普通(Ⅰ)救命講習」を行いました。



11月11日、講師に東京サラヤ株式会社社菊地信様をお招きし、「感染症及び食中毒」について研修会を行いました。冬季はノロウイルスやインフルエンザ等の感染症が流行する時期です。感染症予防に必要な基礎的知識の講義の他、嘔吐物処理や手洗いの実技を行いました。



12月8日は「高齢者虐待について」と題し、福島地方法務局相馬支局長 齋藤晶様に講義いただきました。実際にあつた事例を知る事で、職員一人ひとりが、虐待防止への意識を高め、取り組む姿勢を持つことの重要性を学びました。



原町東地域  
包括支援センター  
です!

申年から西年へ。  
今年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます。

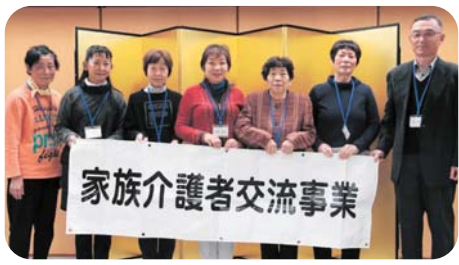
昨年、原発から20キロ圏内の避難解除や復興団地への入居等が重なり、迅速な相談対応が困難なこともありました。今年には不安や悩みを抱えている方々へ、円滑に対応できるよう努めたいと思います。

## 家族介護者交流事業の報告

- 平成28年11月11日(金) もりの湯 湯多利亭
- 平成28年11月15日(火) 松川浦 旅館かんのや

介護に対する悩み等の分かち合いや介護者間で情報交換できる場、更に、リフレクシユが図れる事を目的に開催しました。

この開催目的を達成できるよう、今後も介護者の皆さんを支援してまいります。



# 忘年会

今年もみんなで忘年会。寒さを吹き飛ばす暖かい鍋は年末のお楽しみ。杵と臼で搗いたあんころ餅にお寿司、苺と華やかな忘年会になりました。

特別養護  
老人ホーム  
福寿園



△目録贈呈 感謝状贈呈▽



昨年11月15日に、あいおいニッセイ同和損保MS&ADゆにぞんスマイルクラブ様より車椅子を寄贈頂きました。役員有志の方々の方々の募金制度を活用した寄贈との事です。特別養護老人ホーム福寿園で活用させていただいております。

あいおいニッセイ同和損保MS&ADゆにぞんスマイルクラブ様からの車椅子寄贈

## 車椅子寄贈



### 施設ケアマネジャーの仕事とは

特別養護老人ホーム福寿園  
主任介護支援専門員

天野 和加子

施設ケアマネジャーの仕事は、

- 一、介護保険証の認定有効期間の把握と更新申請代行の手続き。
  - 二、認定調査と主治医意見書作成の依頼に関する調整。
  - 三、施設サービス計画に関わり、安定して過ごされている方には定期的に(年2回以上)、入退院や身体状況に変化があれば、その都度、サービス担当者会議を開催し、計画書を作成する。
  - 四、計画書をご利用者、ご家族に説明交付し、同意を得る。
  - 五、サービス計画の実施状況を記録するとともに、作成したサービス計画の目標が達成できているかどうかを定期的に評価し、変更した方が良い所があれば計画を立て直す。
- これを繰り返すことです。中でも最も重要な仕事である、施設サービス計画書を作成する際には、その人らしい自立の実現、過不足のないケアサービス、安全なサービス提供とリスクマネジメント等について、介護職員、看護職員、栄養士と話し合いながら作成しています。施設での生活が少しでも自宅で過ごされていた頃に近づけるよう、日々取り組んでいます。

# イルミネーション 2016 ★ケアハウスさくら荘★

今年は、新しいキャラクターが仲間に加わりました！毎夜20時まで点灯していますので、ぜひ見に来て下さい。



いつもありがとうございます  
ごぞいます

## 寄付 (9月15日～12月15日)

- ◎高野ひろ子様 (原町区上洪佐) 寄付金
- ◎志賀 孝一様 (小高区飯崎) 寄付金
- ◎牛来 清治様 (原町区矢川原) 寄付金
- ◎高藤喜八郎様 (原町区雲) 寄付金
- ◎只野テル子様 (原町区鶴谷) 寄付金
- ◎沢 宏一様 (いわき市) 寄付金
- ◎沢 正様 (原町区桜井町) 寄付金

## 寄贈 (9月15日～12月15日)

- ◎佐野 和子様 (埼玉県鶴ヶ島市) 絵画
- ◎志賀 方次様 (原町区馬場) 壁飾り
- ◎金子美智子様 (原町区日の出町) 鉢花
- ◎藤本 好美様 (鹿島区南館) もち米
- ◎福島県浜通郵便局長会 相馬南部会婦人会様 (南相馬市) タオル

## ボランティア (9月15日～12月15日)

- \*特別養護老人ホーム福寿園 演奏会 増山稔様
- \*ケアハウスさくら荘
- ◎歌の集い (第2水曜日) 南地区福祉委員会様
- \*福寿園デイサービスセンター
- ◎傾聴ボランティア いちご会様
- ◎マジック 原町マジック研究会様
- ヒロ福田 (福田俊弘) 様

- ◎氏家 恒夫様 (川俣町) 米
- ◎氏あいおいニッセイ同和損保 MS&ゆにぞんスマイルクラブ様 (福島市) 車椅子

## 編集後記

明けておめでとう  
おめでとうございます

昨年同様ご利用者の皆さんの生活や各事業所からの情報や企画等を発信していきたいと思っております。今年もよろしくお願いたします。

